

橋本貴絵さん（11期生）**卒業後の進路：香蘭ファッションデザイン専門学校****現在：四季株式会社（劇団四季）舞台美術部 コスチューム**

現在『ライオンキング』というミュージカルの本番に衣裳スタッフとして従事しています。毎日同じクオリティの舞台を維持するために、本番中に行われる俳優さんの着替えのサポートや、着用している衣裳の洗濯とメンテナンスを行っています。

幼い頃から裁縫が好きだった為、高校での3年間は被服の授業を全て選択し、常に裁縫をしていた高校生活でした。「ファッション造形」の授業を受講していた同級生と一緒にドレスを製作して、3年生の蒼風祭でファッションショーを行ったことはとても濃い思い出となっています。

高校生活では個性的な友人たちから様々な考えや意見を聞き「こんな考えの人もいるんだな」と感じる事がたくさんありました。その考えを否定することなく受け入れることで友人たちとより仲良くなれました。このようにお互いを尊重できるところが講倫生の素敵なおところだと思っています。今でも様々な職場で活躍している講倫生の友人の話を知るとワクワクしてしまいます。

同級生が「カンボジアに行くから使っていない文房具を回収したい」ということで声をあげたところ、想像以上に多くの友人たちより未使用の文房具が集まり、自分からやりたいと思ったことを声に出すと、その想いに賛同してくれる人がいることが分かりました。この出来事からやりたい事の大小を問わず声に出すことで、夢に近づくことができるようになるようになりました。

私が劇団四季に入団したいと思ったきっかけは、高校2年生の修学旅行での芸術鑑賞でした。劇団四季の『ライオンキング』を初めて観劇し、俳優さんが動物に見えるほど作品に引き込まれました。演技以外にも衣裳は視覚的情報として舞台を作る重要な要素の一つなのだと思えるようになりました。それ以来、私は舞台衣裳スタッフになることを志すようになりました。現在、入団を決めたきっかけである『ライオンキング』の担当をしていると思うと感慨深く、やりがいを感じます。



第4回蒼風祭「ファッションショー」より